第62回大阪国際フェスティバル2024

OSAKA INTERNATIONAL FESTIVAL 大阪国際フェスティバル

二つの〈四季〉と〈春の祭典〉

ヴァイオリン:
成田達輝
Tatsuki Narita

指揮/
チェンバロ・ピアノ/
編曲:
鈴木優人
Masato Suzuki

バンドネオン:
三浦一馬
Kazuma Miura

©池上直哉

時空を超え、バロックとタンゴが混ざり合う

ヴィヴァルディ「四季」＋ピアソラ「ブエノスアイレスの四季」

(編曲:鈴木優人・萩森英明)

"粗野で背徳的で強烈なコントラスト" 永遠の問題作

ストラヴィンスキー「春の祭典」

管弦楽:関西フィルハーモニー管弦楽団
Kansai Philharmonic Orchestra
©s.yamamoto

鈴木優人×関西フィル

Suzuki Masato
Kansai Philharmonic Orchestra

2024.
6/12(水) 19:00開演 (18:00開場) フェスティバルホール 大阪市北区中之島2-3-18

チケット料金(全席指定・消費税込み)
S席7,500円、A席6,500円、B席5,500円、SS席8,500円、BOX席11,000円、バルコニーBOX席(2席セット)15,000円、学生席3,000円

[チケット・お問い合わせ]
フェスティバルホール チケットセンター 06-6231-2221(10:00〜18:00) https://www.festivalhall.jp(要事前登録)

主催:朝日新聞文化財団、朝日新聞社、フェスティバルホール、関西フィルハーモニー管弦楽団
協賛:朝日放送グループホールディングス、サントリーホールディングス、ダイキン工業、竹中工務店
文化庁 劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業

好評発売中!

バロックとタンゴの「四季」×2 そして、「春の祭典」

イタリアのヴィヴァルディ（1678～1741）、アルゼンチンのピアソラ（1921～1992）。バロックとタンゴ、遠く離れた時代に地球の反対側で生まれた二つの「四季」で、グローバルな四季の世界を描きます。

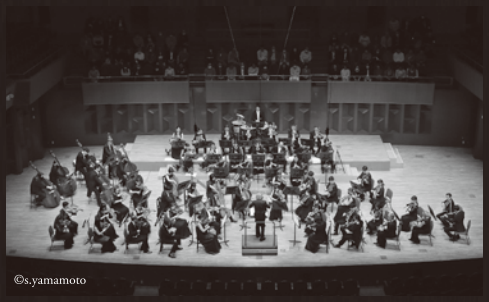
バンドネオンは、タンゴでは格好いいソロが特徴的な楽器ですが、実はドイツ生まれで、賛美歌の伴奏をするため宣教師がアルゼンチンへ持ち込んだとも言われます。なので、ヴィヴァルディで通奏低音を弾くこともできるのでは？　などとアイデアが広がります。

ピアソラは学生時代から弾いてきました。バロックと同じく型があって決まる。音楽にゆるみがない、それでいて突然ふっと解放される瞬間がある、そういう振り回される感じが好きです。様式感という意味では、ヴィヴァルディとの組み合わせは正しいと思うんです。

ストラヴィンスキー「春の祭典」は、人間の根源的な音への欲求がこもった音楽。演奏者の高揚が、きっと客席にも伝わるはずです。

フェスティバルホールで繰り広げられる「四季と春」の祭典を、どうぞお楽しみに！

鈴木優人



©s.yamamoto

［管弦楽］
関西フィルハーモニー管弦楽団
Kansai Philharmonic Orchestra

1970年発足、2018年公益財団法人化。A.デュメイ音楽監督のもと、首席指揮者・藤岡幸夫、首席客演指揮者・鈴木優人と共に常に新たな挑戦を続けている。2023年10月、楽団2度目となる欧州公演を開催、各地で好評を博した。

©日本コロムビア

［バンドネオン］
三浦一馬 *Kazuma Miura*

10歳よりバンドネオンを始め、自作CDの売上で渡航費を捻出しアルゼンチンに渡る。国際ピアソラ・コンクールで日本人初、史上最年少で準優勝。NHK大河ドラマ「青天を衝け」の大河紀行音楽演奏を担当。

©Marco Borggreve

［ヴァイオリン］
成田達輝 *Tatsuki Narita*

2010年ロン＝ティボー国際コンクール第2位、2012年エリザベート王妃国際音楽コンクール第2位。国内外の指揮者・オーケストラとの共演、リサイタルや室内楽でも圧倒的なテクニックと表現力を披露。現代作曲家とのコラボも得意とする。使用楽器はストラディヴァリウス“Tartini”（宗次コレクションより貸与）

フェスティバルホールとストラヴィンスキー

ストラヴィンスキーの初来日は1959年、大阪国際フェスティバルの招きによるものでした。フェスティバルホールでNHK交響楽団を指揮し、自作の「ペトルーシュカ」「火の鳥」ほかを演奏したのが日本での初舞台となりました。1959年5月1日、フェスティバルホール

©Marco Borggreve

［指揮／チェンバロ・ピアノ／編曲］
鈴木優人 *Masato Suzuki*

東京藝術大学卒業及び同大学院、オランダ・ハーグ王立音楽院修了。バッハ・コレギウム・ジャパン（BCJ）首席指揮者、読売日本交響楽団指揮者／クリエイティヴ・パートナー、アンサンブル・ジェネシス音楽監督、2023年4月から関西フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者。自らプロデュースするBCJオペラシリーズはバロック・オペラの新機軸として高く評価され、2022年5月にはグルック《オルフェオとエウリディーチェ》（勅使川原三郎新演出）で新国立劇場に指揮者として初登場。NHK-FM、テレビ朝日系列「題名のない音楽会」などメディア出演も多い。九州大学客員教授。

［ チケット料金（全席指定・消費税込み） ］

S席7,500円　A席6,500円　B席5,500円　SS席8,500円　BOX席11,000円　バルコニーBOX席（2席セット）15,000円　学生席3,000円

＊バルコニーBOX席はフェスティバルホール チケットセンターでの電話予約のみ
＊学生席はフェスティバルホール チケットセンターのみで販売（25歳以下／学生本人の名前でご予約ください／当日指定券と引き換え／引き換え時、学生証をご提示ください）

［ チケット・お問い合わせ ］

フェスティバルホール チケットセンター 06-6231-2221（10:00～18:00）**https://www.festivalhall.jp**（要事前登録）

関西フィルハーモニー管弦楽団 06-6115-9911（平日10:00～17:00、土曜10:00～16:00、日祝休）

◆ チケットぴあ https://t.pia.jp ［Pコード:256-694］　◆ ローソンチケット https://l-tike.com/ ［Lコード:51921］
◆ CNプレイガイド https://www.cnplayguide.com/ 0570-08-9990
◆ e+（イープラス） https://eplus.jp/　◆ セブンチケット https://7ticket.jp/sc/21nh

公演について詳しくは ▶

＊やむを得ない事情により曲目・出演者等が一部変更になる場合があります。公演中止の場合を除き、チケットの変更・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。
＊未就学児の入場はご遠慮ください。

大阪国際フェスティバル公式ブログ https://www.blog-osakafes.com/